

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 南陽恵和会

目 次

1	平成30年度事業総括・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	法人事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	理事会・監事会・評議員会開催状況・・・・・・・・	4
4	会議・委員会開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	職員状況・・・・・・・・・・・・・・・・	6
6	職員研修等状況・・・・・・・・・・・・・・・・	7
7	苦情受付と対応・・・・・・・・・・・・・・・・	9
8	特養増床・・・・・・・・・・・・・・・・	9
9	特別養護老人ホームこぶし荘・・・・・・・・	10
	(1) 介護係	
	(2) 医務係	
	(3) 給食係	
	(4) 総務係、事務人事係	
	(5) 業務係	
10	こぶし荘ショートステイ・・・・・・・・	23
11	こぶし荘デイサービスセンター・・・・・・・・	25
12	こぶし荘在宅介護支援センター・・・・・・・・	29
13	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家・・・・・・・・	31

1. 平成30年度事業総括

平成30年度は、介護保険法・介護報酬・診療報酬・障害福祉サービス費の改定や生活困窮者自立支援法の改正、包括的な支援体制の整備等に向けた改正社会福祉法の施行など、社会保障、社会福祉にとって変革の年であった。

こうした中、今年度は、昨年度の大規模な空調設備更新に続き、「地域における公益的な取り組み」として、第7期山形県老人保健福祉計画及び第7期南陽市介護保険事業計画に掲げる「特養待機者の解消と介護離職者ゼロの実現」に基づき「特別養護老人ホームこぶし荘増床整備（30床増床）」を推進・実行した。工事の遅れがあり、当初予定より1か月遅れとなるが、令和元年5月1日にオープンに至る。

また、この度の増床整備に当たっては、「施設整備検討委員会」、「日課見直し検討委員会」、「人材確保プロジェクトチーム」といった専門委員会を設置し、職員全体で検討を重ねてきた。昨年度8月から、16時間夜勤を8時間夜勤とし、さらに増床棟の新設に伴い、より個別的ケアを実践できるように、3つの棟に分けた「棟ごとケア」をイメージし、今年度4月から「学習・思考・検討」を重ね、「こぶし荘方式の棟ごとケア」の形が見えてきた。社会的な人材不足の中、オープンできる数の職員も整い、新採職員には、プリセプター制度を採り入れ、一人ひとりに合わせた指導ができるように取り組んだ。

さらには、増床棟に移設した厨房やショートステイも、新しい機器や環境を生かし、より良質なサービスをどのように提供していくか、各部署の連携体制をどうとるか検討し取り組んだ。

感染症に関しては、インフルエンザウイルスやノロウイルスなどの感染症が発生することもなく終えることができた。これは、感染症発生時期には、県の感染症発生動向調査を確認しながら、安全衛生委員会や給食委員会、感染症・食中毒蔓延防止委員会を中心に、感染症マニュアルをもとに、感染症予防の喚起を行うとともに、面会制限など家族関係者に協力をいただいた結果と思われる。これにより、9月の敬老会や、10月の秋祭りなどの行事も予定通り実行でき、利用者・家族や地域の皆様に喜んでいただけたとともに、職員やボランティアはじめ各関係者との交流を図ることができた。

介護サービス利用実績は、感染症発生がなかったこともあり特養施設において、入院による空きベッド541日（前年度比▲443日）、死亡及び入院による退所者18人（前年度比▲15

人)、次期入所者までの空きベッド 191 日(前年度比▲388 日)、ショートステイは、増床工事に伴い 4 床のベッド数減があり、前年度比▲570 人、平均利用率 73.8%(前年度 72.9%)、特養平均利用率は 97.5%(前年度 103.0%)であった。また、デイサービス、支援センターは、介護保険法の改正により、地域密着型への移行、また、予防については総合事業へ完全移行となった年であり、利用内容の調整等の混乱もあった。結果的には、前年度と比べ、厳しい数値となった。

こぶし荘増床棟の完成・オープンに至る平成 31 年度は、検討を重ねた「こぶし荘方式の棟毎ケア」をどう創造していくか、引き続き模索し実践していく年となる。

社会情勢が目まぐるしく変化し、様々な課題が山積する厳しい状況の中、社会福祉法の理念に基づく社会福祉法人として、経営安定に向けた取り組みにより、より良いケアの実践に職員一丸となり取り組んでいく。

2. 法人事業概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 南陽恵和会
- (2) 所在地 山形県南陽市川樋508番地
- (3) 設立年月日 昭和63年5月17日
- (4) 法人事業

第一種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設 (居宅介護支援事業)	特別養護老人ホームこぶし荘 (こぶし荘在宅介護支援センター)	80名	平成元年4月1日 (平成5年4月1日)

第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	8名	平成元年4月1日
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成14年3月1日

(5) 組織図

社会福祉法人 南陽恵和会

理事長
副理事長
理事会
評議員会
監事会
評議員選任・解任委員会
顧問

- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
「こぶし荘」
- 短期入所生活介護施設
「こぶし荘」
- 通所介護施設
「こぶし荘デイサービスセンター」
- 居宅介護支援事業所
「こぶし荘在宅介護支援センター」
- 認知症対応型共同生活介護施設
「こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家」

3. 理事会・監事会・評議員会開催状況

(1) 役員 理事 8名 (定数 8名)
 監事 2名 (定数 2名)
 顧問 1名 (定数 1名)

(2) 評議員 9名 (定数 9名)
 評議員選任委員 3名 (定数 3名)

(3) 理事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数		
		理事	監事	顧問
平成30年5月23日	平成30年度臨時理事会 ・特養増床の再入札会について	8/8	2/2	1
平成30年6月12日	平成30年度 第1回定例理事会 ・事業報告案、決算報告書案並びに監査報告 他	7/8	2/2	0
平成30年10月2日	平成30年度 第2回定例理事会 ・増床整備について 他	8/8	2/2	0
平成30年12月13日	平成30年度 第3回定例理事会 ・特養増床整備、事業執行状況について 他	7/8	2/2	1
平成31年1月8日	平成30年度臨時理事会 ・特養増床整備について 他	7/8	2/2	0
平成31年3月26日	平成30年度 第4回定例理事会 ・平成31年度事業計画案、当初予算案 他	8/8	2/2	0

(4) 監事会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数
		監事
平成30年5月31日	平成30年度 第1回定例監事会（業務執行監査） ・監査の所見は「決算報告書」に掲載	2/2

(5) 評議員会開催状況

開催日	決 議 事 項	出席者／定数	
		評議員	役員
平成30年6月26日	平成29年度定時評議員会 ・決算報告書案並びに監査報告 他	9/9	10/11

4. 会議・委員会開催状況

(1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内 容
4月～3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、目標達成のための協議検討

(2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	6回	次期入所者の決定、調整
身体拘束廃止委員会	6回	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	6回	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	6回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	6回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	6回	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	5回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	6回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	6回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	3回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	12回	ショート利用者のリスク軽減
看護介護協働委員会	1回	喀痰吸引制度の普及啓蒙

(3) 特別委員会

会議名	開催回数	内 容
日課検討委員会	11回	棟毎ケアの検討・試行
秋祭り実行委員会	6回	こぶし荘秋祭りの企画実施
施設整備検討委員会	1回	5月以降は日課検討委員会と合同開催
人材確保プロジェクトチーム	5回	人材確保への提案とパンフレット等の作成

(4) 職員会議

会議名	参加者	内 容
平成30年4月26日	51名	平成30年度事業計画について 他

5. 職員状況

(1) 職種別

平成 31 年 3 月 31 日現在

職 名	事 業 所 別					H30 年度 採用者数	H30 年度 退職者数
	こぶし荘	デイ	グループ	支援	計		
施 設 長	1				1	0	0
事 務 職	2				2	0	0
管 理 者	【1】	【1】	【1】	【1】	0	0	0
生 活 相 談 員	2	1・【2】	－	－	3	0	0
介護支援専門員	【2】		【1】	2 (1)	2	1 (1)	1
介 護 職 員	43 (22)	4 (2)	7 (3)	－	54	9 (6)	4 (3)
看 護 職 員	6 (1)			－	6	1	1 (1)
機能訓練指導員	1	－	－	－	1	0	0
管 理 栄 養 士	2		－	－	2	0	0
調 理 員	7 (4)		－	－	7	1 (1)	1 (1)
業 務 員	2 (1)				2	0	0
洗 濯 員	5 (5)	－	－	－	5	1 (1)	1 (1)
清 掃 員	3 (3)	－	－	－	3	0	0
夜 警 員	4 (4)				4	0	1 (1)
医 師 (嘱託)	2 (2)	－	－	－	2	1 (1)	1 (1)
実人員合計	80 (42)	5 (2)	7 (3)	2	94 (47)	－	－

※ () 内は嘱託・準職員・パート職員、【 】内は同一事業所内での兼務

※ 採用・退職者数に人事異動を含む

※ 実人員合計の内、他事業所を兼務する職員は本体施設でカウント

※ 本表は介護保険法に基づく配置基準を確認するための様式とは異なります

(2) 年齢別

(平均／49.5 歳)

区分	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳～
男 性	0	5	1	3	11	6
女 性	0	1	15	15	24	10
計	0	6	16	18	35	16

(3) 在職別

(平均／13.5 年)

区分	0～5 年	6～10 年	11～15 年	16～20 年	21～25 年	26～30 年
男 性	11	2	1	3	2	7
女 性	24	9	8	4	2	18
計	35	11	9	7	4	25

6. 職員研修等状況

(1) 職場内研修

開催日	研 修 内 容	参加者数
H30. 5. 23・25 H30. 11. 6	感染症予防研修（講師：ケミカル産業） 感染症予防、入居者の手洗い〔感染症予防対策委員会〕	36 名
H30. 6. 21	床ずれ対策勉強会（講師：パラマウントベッド） 〔褥瘡発生防止委員会〕	35 名
H30. 7. 25・27	対人関係とストレスケア（講師：介護労働安定センター） 〔身体拘束廃止委員会〕	33 名
H30. 8. 21	高齢者ケア施設における看取り（講師：東北文教大 橋本先生） 〔看取り介護委員会〕	24 名
H30. 11. 9・28	腸内環境を整える（講師：米沢ヤクルト） 〔給食委員会〕	54 名
H30. 11. 2 H30. 12. 19	車イス介助時のヒヤリハット注意点（講師：サン十字） 〔事故発生防止委員会〕	43 名
H30. 11. 26・27	認知症サポーター養成講座（講師：佐々木グループホーム管理者）	34 名
H30. 12. 6	たばこの体に及ぼす影響（講師：川合産業医）〔安全衛生委員会〕	32 名
H31. 2. 7	成果・事例発表〔職員 5 名〕〔研修委員会〕	40 名
H30. 11. 30 H31. 3. 20	幹部職員研修（リーダー職以上対象）（講師：緑愛会 宍戸氏）	36 名

〔 〕は主催委員会

(2) 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
平成 30 年 4 月	置賜地区施設長協議会	施設長
平成 30 年 5 月	山形県老人福祉施設協議会総会・研修会	施設長
	アセスメントを理解する	介護職
	特養部会 機能訓練指導員役員会	機能訓練指導員
	山形県作業療法士学会	機能訓練指導員
	特養部会 栄養士・調理員研修会	栄養士・調理師
	リーダー育成研修	介護職
平成 30 年 6 月	認知症介護実践者研修 6 月～7 月	介護職
	高齢者福祉種別新任職員研修	介護職
	マネジメントスキル研修 6 月～11 月	介護職

平成 30 年 7 月	特養部会 介護職員研修会	介護職
	安全運転管理者法定講習	業務員
	置賜地区 生活相談員研修	生活相談員
	認知症介護実践リーダー研修	介護職員
	介護保険施設等集団指導	多職種 4 名
	自立支援介護実践者講習会 7 月～1 月	介護職
平成 29 年 8 月	特養部会生活相談員研究会	生活相談員
	特養部会機能訓練指導員研究会	機能訓練指導員
	新人職員研修	介護職員
平成 30 年 9 月	インターンシップ導入セミナー	生活相談員
	施設介護支援専門員研修	介護職
	リハビリテーション研修	介護職
	特養部会施設長研修会	施設長
	O J T スキルアップ研修	介護職
	職場研修指導者研修	介護職
平成 30 年 10 月	特養部会 後期介護職員研修会	介護職
	認知症基礎研修	介護職
	特養部会 栄養士研修会	栄養士
	褥瘡対策研修	介護職
	高齢者介護職員研修	介護職
	社会福祉専門講座	介護職
	防火管理者講習	G H 介護職
平成 30 年 11 月	特養部会 機能訓練指導員研修	機能訓練指導員
	特養部会 生活相談員研修会	生活相談員
	新人職員指導者育成研修	介護職
	キャリアコンサルティング研修	介護職

(3) 社会・地域貢献活動

期日	項 目	参加数 派遣数	活動内容
H30. 4. 28	清掃活動ボランティア	22 名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除
H30. 5. 13～	中川地区花いっぱい運動	全職員	花苗植栽、除草等の花壇管理
H30. 8. 12	いわぶの里夏祭り	6 名	模擬店への協力
H30. 11. 2	中川地区文化祭準備手伝い	6 名	展示品の掲示作業
H30. 11. 14	中川小放課後子供教室	3 名	講師派遣（給食係職員）
H30. 11. 17	出前介護相談会（共催：サン十字様）	3 名	福祉機器紹介と取扱いについて

(4) 研修講師派遣・派遣協力

期日	研修名	団体等	派遣職員
H30. 10. 25	認知症サポーター養成講座	宮内・南陽郵便局	佐々木利典
H30. 11. 24	〃	オレンジカフェ参加者	〃
H30. 11. 26	〃	南陽恵和会	〃
H30. 11. 27	〃	南陽恵和会	
	認知症対応型サービス事業開設者研修	山形県	〃
	認知症介護実践者研修	山形県、山形県老施協	〃
	認知症介護リーダー研修	山形県	〃
	認知症対応型サービス事業管理者研修	山形県	〃
	介護アシスタント養成研修	山形県老施協	〃
	職場内研修会	リバーヒル長井	
	授業講義	済生館看護学院	〃
H30. 11. 8 H30. 12. 13	元中山地区サロン	元中山地区	勝見清美 支援センター
H31. 2. 18	川樋地区サロン	川樋地区	〃

7. 苦情受付と対応

今年度の苦情受付はありません

8. 特養増床整備

工事名	特別養護老人ホームこぶし荘増床工事
設置主体	社会福祉法人南陽恵和会
設計監理	(株) シェルター
施行業者	主体工事：三浦建設工業（株）、機械設備：弘栄設備工業（株） 電気設備：東北電化工業（株）、外構造成：（株）イトウ
工事期間	着工：平成 30 年 7 月 17 日 ～ 完成：平成 31 年 3 月 30 日
事業開始	令和元年 5 月 1 日（当初予定：平成 31 年 4 月 1 日）
事業費	630,510 千円（土地取得、設計監理、建築費 等）
補助金	山形県社会福祉施設等整備補助金、南陽市介護施設等開設準備補助金 等
整備概要	4 人居室：9 室、2 人居室：1 室、厨房、栄養士室、更衣室、ケアワーカー室、 浴室、洗濯室、食堂 等

9. 特別養護老人ホームこぶし荘

～ 介 護 係 ～

(1) サービス全般について

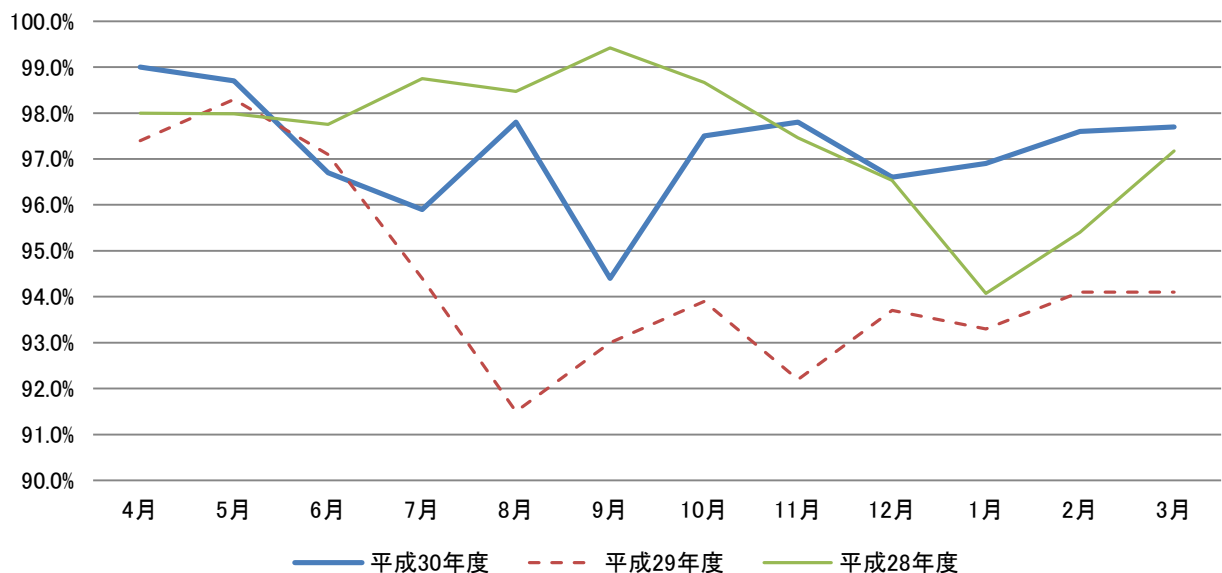
今年度は、利用者がゆっくり楽しんで食事をとれる環境づくりとして、日課検討委員会で検討を重ね、夕食提供時間を早め、食事時間帯を増やす取り組みを行った。これにより食事介助における時間の余裕が生まれ、より丁寧な介助が出来るようになった。これからも利用者に安全・安心なサービスを提供する為、一人ひとりの気持ちに寄り添った介護を目指していく。

(2) 利用状況（平成31年3月31日現在）

① 要介護度・月別

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数
要介護1	90	93	88	84	93	90	103	90	93	93	84	62	1,063	2人
要介護2	150	155	180	186	186	150	155	150	155	180	168	217	2,032	7人
要介護3	565	589	492	476	509	480	453	390	394	403	386	441	5,578	14人
要介護4	683	743	721	806	836	825	871	783	800	798	731	825	9,422	28人
要介護5	889	868	840	826	806	797	836	930	954	930	818	879	10,373	29人
合 計	2,377	2,448	2,321	2,378	2,430	2,342	2,418	2,343	2,396	2,404	2,187	2,424	28,468	80人
利用率	99.0	98.7	96.7	95.9	97.8	94.4	97.5	97.8	96.6	96.9	97.6	97.7	97.5	
平均介護度 3.9（昨年度 4.0） ※ 平成30年度全国平均介護度（全老協統計）														

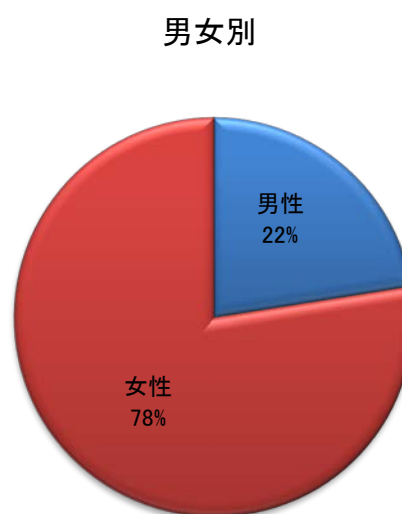
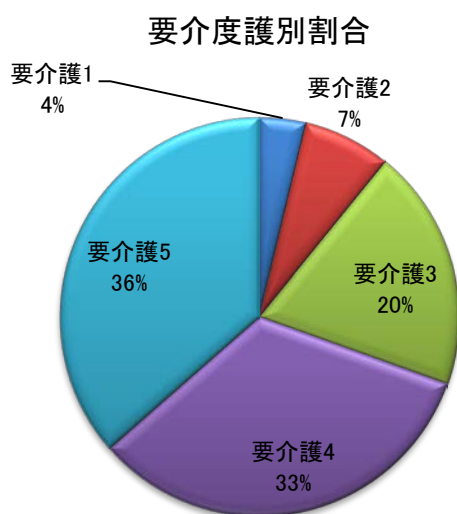
稼働率推移（過去3年分）



② 男女別

実人数

男性	女性	計
18人	62人	80人



平成27年度の介護保険改正により入所対象者が原則、要介護3以上となったことから、介護度が全国平均と同じく4.0と高くなった。また、比較的介助に注意を必要とする要介護3・4の割合が5割以上となっている。

③ 市町村別

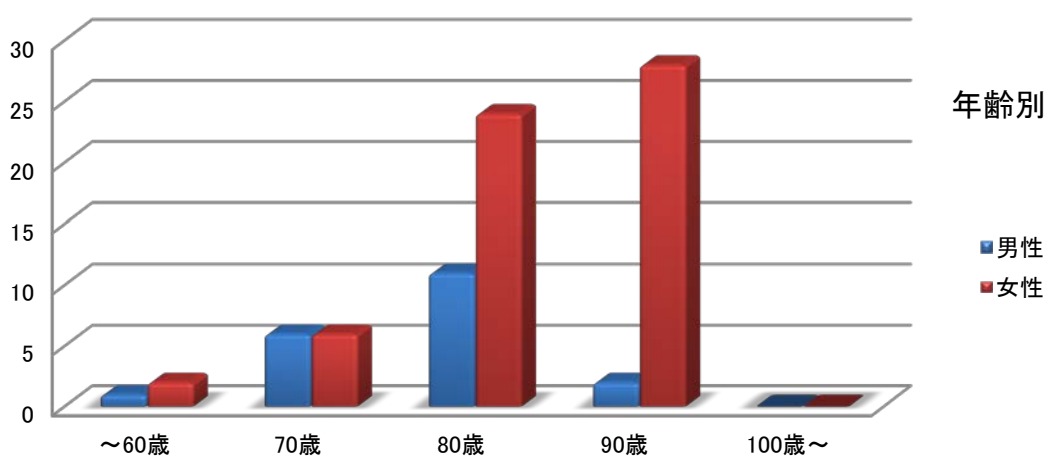
実人数

南陽市	米沢市	高畠町	川西町	その他	合計
76	2	1	1	0	80

④ 年齢別

実人数

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男性	2	7	8	1	0	80.6歳
女性	1	8	26	26	1	87.8歳
計	3	15	34	27	0	84.2歳



現在の入所者の年齢構成は、80歳以上が77.5%を占めるが、ここ最近では60歳代、70歳代の方の入所や入所申込が増えてきた傾向にある。

(3) 入退所の状況

実人数

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	入院死亡	希望退所	計	南陽、高畠、米沢
男 性	5	3	1	9	7
女 性	10	1	2	13	13
計	15	4	3	22	20

死亡退所の内訳	施設内	入院先病院	退所後病院亡	計
人 数	11	4	2	17
平均年齢	91.1	84.7	85.5	87.1

(4) 日常生活の状況

実人数

区 分	歩 行				食 事			入 浴		排 泄	
	自立歩行	歩行介助	車いす使用	ベッド生活	自力摂取	一部介助	全部介助	自力浴	機械浴	自立・一部介助	オムツ使用者
実数	1	9	35	35	36	10	34	7	73	16	64

(5) 認知症高齢者の状況

実人数

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	14	59	73
(全体に占める割合)	17.5%	73.7%	91.2%

(6) リハビリテーション

① リハビリ実施状況

実人数

項 目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週1回	10	6	7	7	7	37
	週2回	4		3	1	1	9
集団リハビリ	毎週火曜		33				33

② リハビリの内容

項 目	リハビリの内容
個別リハビリ	●歩行訓練（平行棒、歩行器、杖等） ●立ち上がり訓練 ●ROM-E X（関節稼働域訓練） ●起き上がり訓練 ●筋力訓練 ●ポジショニング ●座位保持訓練 ●移乗訓練 ●作業活動
集団リハビリ	●歌体操 ●脳トレーニング ●回想法 など

～ 医 務 係 ～

（１）サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

（２）医 療

① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
柏 倉 祐 司 嘱託医	内 科	毎週金曜日
佐 藤 忠 宏 嘱託医	精神科	毎月第１、３木曜日
佐 藤 有 弘 歯科医	歯 科	随時回診

柏倉嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤嘱託医による定期診療と、また先生指導による処遇に関する施設内研究など、専門的かつ積極的な取り組みがなされた。

オンコール体制は、佐藤忠宏先生・川合厚子先生・柏倉祐司先生で日々の診療体制を取っている。

歯科診療については、佐藤有弘歯科医の往診治療、口腔衛生指導により、多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族から好評を得た。

② 感染症等対策

項 目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	48 名	平成 30 年 10 月 5 日～12 日
インフルエンザワクチン	78 名	平成 30 年 11 月 9・16・30 日
肺炎球菌ワクチン	8 名	平成 31 年 2 月 15 日

- ・弱酸性次亜塩素酸水による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策～浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施
- ・ノロウイルス等対策～うがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒（週 1 回及び随時）
- ・風邪など感染症予防のため、出退勤及び面会時うがい、マスク着用、手指の消毒を実施

（３）入院・退院

入院者	退院者	入院中 死亡者	継 続 入院者	長期入院によ る契約終了	その他
17 名	11 名	4 名	0 名	2 名	0 名

※入院者には、同一利用者の複数回入院が含まれます

入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	米沢市立病院
1 名	10 名	5 名	0 名	1 名

（４）健康調査

入居者の健康管理上、健康状態の把握が重要なため毎月健康調査を行った

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年 1 回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時大塚嘱託医の指示のもと、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に大塚医院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者 50 人

（５）職員の健康管理

項 目	実施時期	受検者数	対象者
春季健康診断	5 月	46 名	夜勤職員及びパート職員
秋季健康診断	10 月～12 月	69 名	全職員（健康保険未加入者除く）
インフルエンザワクチン	11 月	81 名	全職員
ストレスチェック	8 月～11 月	86 名	全職員

春・秋の定期健康診断を実施し、その結果に基づき川合産業医の指導を得ながら職員の健康保持に努めた。また、生活習慣病改善に向けて専門保健師等による個別相談の受診を奨励しながら、職員の健康管理を行った。

また、各事業所の安全点検を実施し、安全で快適な職場づくりを目指した。

平成 28 年度のストレスチェック実施義務化に伴い、全職員を対象として、自身のストレスの気づきを促すとともに、職場環境の改善につなげ、労働者がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的に、川合産業医の指導のもと実施した。

～ 給 食 係 ～

(1) サービス全般について

- [1] 基本方針に掲げられている「食べる楽しみ」を重点に嗜好とニーズに合った食事提供を充実させるため、選択メニュー、行事食、個人の誕生祝、季節の食事などを実施した。また荘での初めての棟毎によるおやつレクを実施した。年度途中より、離職者が出たことにより人員体制が不十分であったが、内容は簡素化しながらも提供、実施できた。
- [2] 食事摂取基準2015を基に、栄養・バランスに留意しながらメニューの多様化や味付けを工夫し、管理栄養士によるフロアラウンド等により入居者の嗜好を献立に反映させ、喜ばれる食事の提供、心身の状態にあった献立と食事作りに努めた。
- [3] 低栄養の予防・改善を図り利用者の生活の質を高めるため、食事形態においては刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食を取り入れて、より安全、安心に食べていただけるように努めた。又、最後まで食べる楽しみを支援するため、看取り介護者へは最期まで口から食べる支援を行った。調理面においては安全で衛生面に留意し調理に努めた。
- [4] 平成31年度増床に向け、職員の確保については洗浄パートが決定せず募集をお願いしている状況。食器・器具類の整備については購入して頂いた。日課の見直しについては各部署と調整しながら見直しを行なった。しかし状況に応じ随時見直しが必要である。

① 適時適温食事への配慮

朝 食	昼 食	夕 食
8:00～	12:00～	17:50～

食事の提供に於いては、「温かいものは温かく」「冷たいものは冷たく」「食べやすさ」に努めた。

② 栄養ケアマネジメント

多職種協同による栄養ケアマネジメント体制で入居者全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。スクリーニング、アセスメント、カンファレンスを行ったうえで栄養ケア計画を作成し、家族に説明し同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行った。計画の変更があった場合は、その都度同意を得た。

項 目	単位	栄養摂取量基準値 (平成30年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱 量	kcal	1585	1517	1310
蛋 白 質	g	52.5	55.0	49.7
脂 質	g	42.5	38.0	37.4
カルシウム	mg	661	709	699

鉄	mg	6.2	10.4	9.8
レチノール活性当量	μg	685	443	434
ビタミ ン B1	mg	0.85	0.96	0.89
ビタミ ン B2	mg	0.95	0.98	0.94
ビタミ ン C	mg	100	77	77
塩 分	g	7.2	9.2	9.4

※ 日本人の食事摂取基準（2015 年版）の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。（上記表はその平均）

③ 給食費

年間食数	一日平均単価／人
89,505 食	739 円

※ 給食材料の改善として、新鮮で、より良い素材の吟味、スケールメリットを生かした見直し合わせの実施で価格の安定化を図った。

（２）行事と行事食

- ① 毎月の誕生会～誕生者全員と、家族の方も参加、食事、慰問などで歓談された。楽しく和やかな食事風景が見られ大いに歓迎された。また、ボランティア友の会を中心に慰問もあり歌や踊りを楽しんだ。誕生日当日には一人一人のご希望を伺い厨房が中心となり多職種と共に祝福した。
- ② 正月、ひな祭り、芋煮会、クリスマスなどの行事に季節感あふれる行事食を提供した。
- ③ 重度化により参加者は年々減少傾向にあるが、春の花見等外出も実施した。

※行事と行事食、選択メニューの内容は、p 18～19（資料１）のとおり

- ④ デイサービスにおいては、食のニーズに合わせ麺提供の日、おやつレク実施を昨年度に続き取り組んだ。
- ⑤ 今年度より棟毎ケアへ移行し、初の試みとして棟毎のおやつレクの実施を行なった。入居者自身で作り、食べること、食の楽しみの実現に取り組んだ。大変好評であった。対象者に合わせた内容を企画、立案、実施することができた。
- ⑥ 腸内環境を整えるためヤクルトより冬期間に４週間のミルミル提供を行った。効果が得られた方や、感染症の時期に感染的な体調不良者がみられなかった。給食委員会においても成果を報告し、今後の取り入れについて検討していただいている。

（３）衛生管理について

衛生的な食事の提供と食中毒、O-157、ノロウイルスなどの事故を未然に予防するため、重点的に次のことを心掛けた。

- ① 手指の洗浄と消毒、うがいの励行、自動手洗い器の活用
- ② 検便検査及びノロウイルス検査の実施と感染症対策、管理の徹底
- ③ 職員の体調管理の把握、身体衛生の徹底

- ④ 食品の取り扱い、器具類の清潔保持、衛生管理の徹底
- ⑤ 調理室、食品庫の清潔保持、衛生管理の徹底
- ⑥ 食事（調理済み食品）の迅速な配膳、提供
- ⑦ 厨房前室の食材洗浄用シンクを活用、調理用と区分して衛生確保を図った

（４）残食調査状況（残飯及び残菜合計）

平 均	朝	昼	夕	給食実施数
春 4～ 6 月	1.0 kg	1.3 kg	1.5 kg	84 人
夏 7～ 9 月	1.2 kg	1.5 kg	1.9 kg	81 人
秋 10～12 月	0.9 kg	1.1 kg	1.3 kg	81 人
冬 1～ 3 月	0.7 kg	1.0 kg	1.1 kg	81 人
前年通年平均	1.1 kg	1.3 kg	1.6 kg	81 人

（５）地域連携活動

中川小学校放課後子供教室への出前講座を行い、地域の児童のみなさんへ食事・栄養面から健康増進について働きかけを行った。

～ 総務係・事務人事係 ～

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に注視し、情報の収集と理事会・評議員会への報告・提案に努めた。

「特養増床工事」については、7 月 14 日の造成工事開始以降、月 2 回の工事定例会に参加し工事の進捗確認と安全・適正な工事施工の管理に努めたが、8 月の長雨により工事が遅延し、オープンが 1 ヶ月遅れるという非常に残念な結果に至った。

また、増床整備に伴う山形県補助金及び南陽市補助金の申請を行うとともに、民間補助金の活用と低利な資金借入を目指しながら整備資金の調達事務にあたった。

人材確保と育成・定着については、人材確保プロジェクトチームによる各学校等へ訪問や施設見学会・さらに福祉就職フェアに参加しこぶし荘の魅力発信に努め、増床に向けた人材確保に取り組んだ。また、プリセプター制度を確立させ増床の前倒し採用の新人教育・育成に努めた。さらに正規職員登用規定による準職員から正規職員への登用及び、外部・内部研修による人材育成に努めた。

（１）監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
介護保険施設等集団指導	山形県	H 30. 7. 5	平成 30 年度の指導・監査、法令遵守、基準報酬 等
監事監査（事業・会計監査）	監 事	H 30. 5. 31	指摘事項： 特になし
外部評価（対象：グループホーム）	オールインワン	H 31. 3. 5	全体的に良好な評価を得た

(2) 情報公開

項 目	公開先	内 容
財務諸表等電子開示システム	Ｗｅｂ	現況報告書、財務諸表 等
介護サービス情報公表	山形県（Ｗｅｂ）	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワークシステム	山形県（Ｗｅｂ）	施設内診療所（医務室）と嘱託医情報
情報開示資料（閲覧）	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	Ｗｅｂ	定款、事業計画、事業報告、決算書、現況報告書、利用料金表、求人情報 等
法人広報誌（市内全戸回覧）	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等

(3) 諸規定整備

規 定 名	変更内容
給与規程	報奨金規定の新設、看取り拘束手当の新設
報奨金基準	報奨金規定の新設により細則規定を創設

(4) 人材育成・確保

- ① 人材確保プロジェクトチームによる採用活動を本格化し、5月より県内の福祉系短大・専門学校、7月より置賜地区中心の高等学校を訪問し、職員採用パンフレット及び施設紹介ビデオによる求人活動を行った。
- ② 「施設見学会」や「福祉就職フェア」参加によりこぶし荘の魅力発信を行いながら、求人活動を幅広く実施した。
- ③ プリセプター制度による新人教育を実施し、増床に向けた前倒し採用者の新人教育・育成に取り組んだ。
- ④ 正規職員登用制度により、介護職員1名の正規職員への転換を実施した。
- ⑤ 入職時のオリエンテーションを実施し、法人理念・基本方針等、さらに介護サービスについての基本研修を行い、法人全体への理解を図った。
- ⑥ 職員研修については P7 参照

(5) 表 彰

機 関 名	人 数
山形県老人福祉施設協議会	2 名
全国老人福祉施設協議会（勤続 15 年）	3 名
全国老人福祉施設協議会（勤続 20 年）	1 名
山形県社会福祉法人経営者協議会	7 名

(6) 備品・設備整備

【介護・医療用品関係】

- ① ナースコールの整備（ピッチ連動型）
- ② コールセンサーマット等事故防止用品の追加整備

【管理関係】

- ① パソコン増設整備（棟毎ケアに伴い東西にパソコンを増設設置）

～ 業 務 係 ～

今年度も業務員2名体制で建物、設備等の保守及び補修整備を行った。

また、今年度も経費削減のため、なるべく自前で補修作業を実施するとともに、施設敷地内の環境整備作業や敷地外の作業も一部行った。

さらに、南棟増床工事に伴う施工業者との連絡調整、工程に関する各部署の調整等を実施した。

(1) 主な管理整備関係

	項 目	内 容	備 考
1	花壇整備	環境整備として植栽	いちょうの家
2	外周管理	D S C 法面の調査、管理	
		芝生の除草、施肥、芝刈り等	シルバー人材センター
		法面草刈り、水路管理	
		駐車場、避難道路の除雪、維持管理 大雪のためホイールローダを借用	重機借用
		案内看板の維持管理	
3	建物管理	月次内部定期点検による管理 各部修繕	
4	温水発生器（ボイラー）及び給湯・温水配管類の保守管理	ばい煙測定の実施 床下配管の定期点検 故障修理対応	平成17年度「車両競技公益資金記念財団」助成事業
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃 法定・水質検査 敷地外污水管入替工事	増床棟浄化槽接続
6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査	
7	S P 用非常発電機保守管理		
8	地下油槽保守管理	年1回の漏洩検査を実施	消防法
9	空調・湿度管理	エアコンフィルター管理	C O 2 実績報告

		加湿器の設置管理	弱酸性次亜塩素酸水の活用
10	電気設備定期点検	毎月1回定期点検、年1回総合点検 増床工事によりキュービクルを増設、デマンド装置を設置	デマンド管理による空調設備の一部を制御
11	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除去機の保守管理	消耗部品の交換	1998年度「国県補助事業」
12	屋上保守管理	春と秋の清掃、管理	
13	水道関係保守管理	水道部品等消耗品の交換	
14	自動ドア保守管理	年2回の保守点検	
15	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取（異常なし）	
16	荘内清掃	清掃員による週4日の清掃作業 床洗浄・ワックス作業	
17	公用車の管理	「日本財団」リフトバス2台、 「24時間テレビ」リフトバス、 「日自振」リフトバス、 「競馬財団」スロープ付軽自動車 等公用車の積極的な活用及び管理 ハイエースの修理	2003及び2006年度「日本財団」福祉車両助成事業 平成18年度「24時間TV」寄贈 平成19年度日本自転車振興会補助事業 平成25年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
18	機械浴槽の保守管理	特殊機械浴槽の保守管理 車いす入浴装置の保守管理	2001年度国県補助事業 平成17年度郵政公社年賀寄附金配分事業
19	介護用品等の管理	車いす修理、食事用テーブル、便座等の補修	

（２）防災に関する協定一覧

	名 称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成18年12月30日	川樋地区長（こぶし荘防災協力会会長）
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 災害時施設相互応援協定	平成20年7月8日	置賜地区老人福祉施設長 連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定及び 使用に関する協定書	平成28年2月15日	南陽市長

(資料1)

平成 30 年度行事と行事食

月	日	行 事 内 容	行 事 食
4 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	16 日	お 花 見	ちらし寿司、清汁、五月菜お浸し、ヨーグルト
	26 日	誕 生 会	ピースご飯、かつおたたき、ふき煮、キャベツ漬け、いちご
5 月	1 日	変わりご飯の日	筍ご飯
	31 日	誕 生 会	鶏ごぼうご飯、清汁、エビフライ、わらびの煮物、三五八漬け、プリン
6 月	1 日	変わりご飯の日	生姜ご飯
	28 日	誕 生 会	ご飯、清汁、銀たら煮、茶碗蒸し、赤カブ漬け、メロン
7 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	19 日	丑 の 日 (選択メニュー)	牛皿
	27 日	誕 生 会	ちらし寿司、清汁、信田煮、甘酢生姜、プリン
8 月	1 日	変わりご飯の日	生姜ごはん
	30 日	誕 生 会	ゆかりご飯、清汁、天ぷら、南瓜そぼろ煮、フルーツポンチ
9 月	1 日	敬 老 会	赤飯、清汁、鯉の甘煮、炊合せ、菊と胡瓜酢の物、ミルクプリン、紅白饅頭
	20 日	秋 彼 岸	おはぎ4種、牛乳、白菜五目煮、ゼリー
	27 日	誕 生 会	枝豆ご飯、清汁、ぶり照焼き、あけび味噌焼き、かぶ甘酢漬け、キャラメルプリン
10 月	1 日	変わりご飯の日	しめじご飯
	25 日	誕 生 会	栗ご飯、みそ汁、鶏肉と根菜炒め煮、菊浸し、ぶどうゼリー
11 月	1 日	変わりご飯の日	しめじご飯
	29 日	誕 生 会	ご飯、清汁、刺身盛合せ、茶碗蒸し、もずく、ラフランス
12 月	1 日	変わりご飯の日	ゆかりご飯
	22 日	冬 至	冬至南瓜
	20 日	誕生会	ごはん、刺身、かぶそぼろ煮、小松菜和え物、りんごコンポート
	25 日	クリスマス会	ご飯、煮込みハンバーグ、ブロッコリーサラダ、フルーツポンチ
	27 日	年 越 し そ ば (選択メニュー)	てんぷらそば
1 月	1～3 日	お せ ち 料 理	赤飯、伊達巻卵、いか数の子、棒だら煮、冷汁、炒り鶏、鶏の松風焼き、黒豆、昆布巻き、だいだいムース、紅白なます、きんとん、ブリ照り焼き、ぎんたら煮、とろろ
	7 日	七 草 粥	七草粥
	24 日	誕 生 会	五目ごはん、みそ汁、刺身盛合せ、かぶ海老あんかけ、三五八漬け、プリン
2 月	1 日	節 分 の 日 (変わりご飯)	ちらし寿司、清汁、大豆と鶏肉煮、キャベツ春菊浸し、フルーツポンチ
	21 日	誕 生 会	ご飯、清汁、刺身盛合せ、茶碗蒸し、小松菜和え、プリン
3 月	1 日	ひ な 祭 り (変わりご飯)	ちらし寿司、清汁、筍とふき煮、うぐいす豆、白桃缶
	20 日	春 の 彼 岸	ぼたもち4種、おろし和え、白桃缶、牛乳

平成 30 年度選択メニュー

月	日	メ ニ ュ ー	
4 月	12 日	天ぷら・ごはん	天ぷら・うどん
	19 日	ごはん・豚角煮	山菜そば
5 月	17 日	ごはん・親子煮	冷麦
	24 日	ハヤシライス	みそラーメン
6 月	14 日	ごはん・おろし焼肉	冷し中華
	21 日	梅しそご飯	とろろそば
7 月	12 日	ごはん・茄子と豚のみそ炒め	七夕そうめん
	19 日	ごはん・牛皿	うどん
8 月	9 日	ごはん・赤魚大根煮	冷麦
	23 日	ごはん・おろし焼肉	ざるそば
9 月	13 日	ごはん・五目玉子焼	うどん
10 月	4 日	ごはん・天ぷら	うどん
	11 日	ごはん・煮込みハンバーグ	きのこそば
	18 日	ごはん・チキンカツ	ミートスパゲッティ
11 月	8 日	ごはん・親子煮	月見うどん
	15 日	ごはん・肉じゃが	ラーメン
	22 日	ごはん・鶏の酢豚風	うどん
12 月	6 日	ごはん・八宝菜	あんかけ焼きそば
	13 日	ごはん・千草焼	煮込みそうめん
	27 日	ごはん・天ぷら	年越しそば
1 月	17 日	ごはん・炒り鶏	ラーメン
	31 日	ごはん・唐揚げおろし煮	カレーうどん
2 月	7 日	ごはん・親子煮	温そば
	14 日	ごはん・千草焼	うどん
3 月	7 日	ごはん・鶏肉と大根煮	煮込みそうめん

平成 30 年度おやつレク

実施日	棟	内容	金額	備考
4 月 2 7 日	西	黒糖まんじゅう	647 円	他在庫対応（主に小麦粉）
5 月 2 4 日	東	蒸しパン	0	〃（主に HM、油、カップ）
6 月 1 9 日	西	フレンチトースト	475 円	〃（主にバター、はちみつ）
7 月 2 5 日	東	麩のフレンチトースト	686 円	〃（主に麩、ホイップクリーム）
8 月 3 日	中央	かき氷	496 円	〃（主にシロップ）
1 1 月 6 日	西	蒸しパン	771 円	〃（主に HM、油、カップ）
1 2 月 1 2 日	東	スイートポテト	896 円	〃（主にバター、牛乳）

10. こぶし荘ショートステイ

(1) サービス全般について

ショートステイは、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか、生活相談員を中心に、多様なニーズ（介護者の介護負担軽減、環境変化による活性化、突発的な事情等）とケアマネジャー・家族との細やかな調整に心がけた。

また、毎月ショートステイ委員会を開催し、リスク検証を行いながら安全・安心な利用を目指した。

今後もさらにサービスの充実を図り、利用者・家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

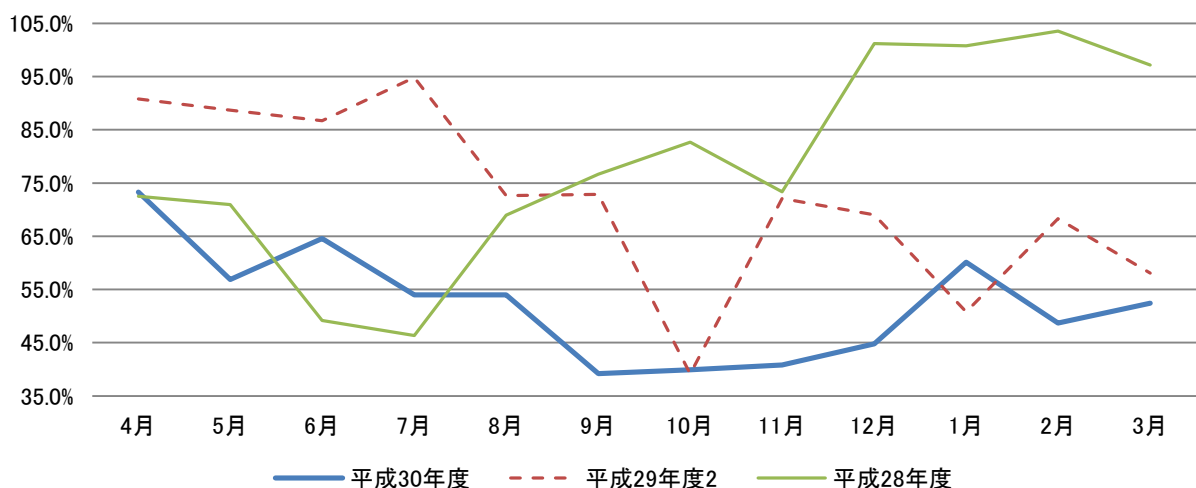
(2) 利用状況

① 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数	176	141	155	134	134	94	99
稼働率	73.3%	56.9%	64.6%	54.0%	54.0%	78.3%	79.8%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用延べ人数	98	111	149	109	130	1530人	
稼働率	81.7%	89.5%	120.2%	97.3%	104.8%	73.8%	

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
平成30年度	1,530人	127.5人	73.8%	3.1
平成29年度	2,100人	175人	71.9%	3.57
平成28年度	2,293人	191.1人	78.5%	3.5

稼働率推移(過去3年分)



上半期は、利用者の体調不良や入所等に重ね、新棟増床に伴う利用制限の文書を各事業所に通達した事で利用率低迷に繋がったと思われる。下半期に入り、8 床から 4 床へと定員変更となるが、日程調整や入院ベッドの活用でニーズに対応してきた。来年度は新棟オープンに伴い、ショートステイの受け入れも新棟となることから、積極艇にアピールし、新規・定期的利用者の獲得に努めていく。

② 要介護度別

実人数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
1	0	8	9	8	10	5	41 人

③ 男女別

実人数

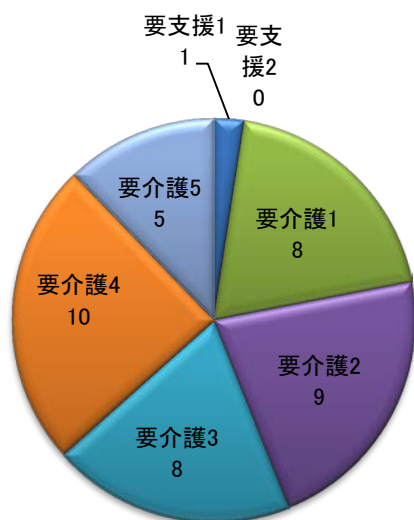
男性	女性	合計
12 人	29 人	41 人

④ 地区別

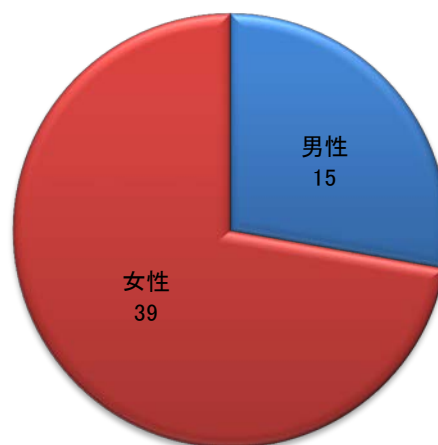
実人数

吉野	高畠	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	合計
3	2	5	2	5	1	13	10	41

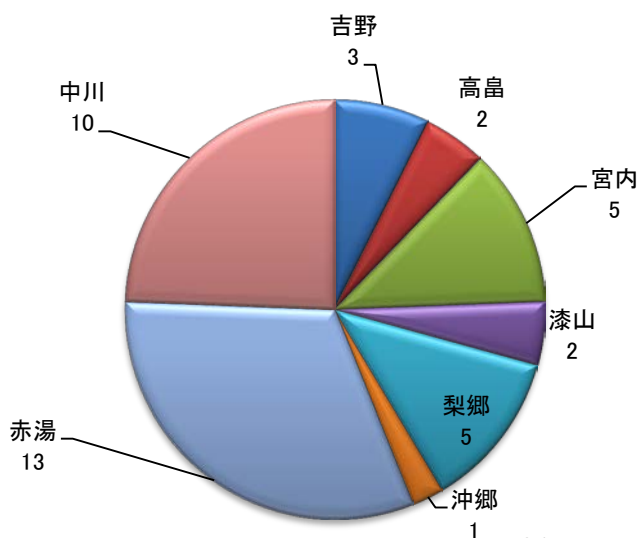
介護度別



男女別



地区別



11. こぶし荘デイサービスセンター

(1) 総括

1. 利用状況

地域密着型通所介護へ移行となり、利用者サービスのより一層の向上を図り新規利用者獲得に力を入れた。

2. 職員研修

施設内研修の参加に努め、職員の資質の向上及び処遇技術の向上に努めた。
また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ 居宅会議	2	2
◇ 運営推進会議	2	4
◇		
◇		

(2) 利用実績

① 実人員（性別、利用別）H31.03 末

介護度	要介護					総合事業					計
	1	2	3	4	5	通 12	通 21	通 22	通 31	通 32	
男性	6	5	3	2	2	1	0	0	0	0	19
女性	12	6	5	0	4	0	1	5	4	2	39
計	18	11	8	2	6	1	1	5	4	2	58

② 地区別 H31.03 末

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	1	1	1	11	2	1	0	1	1	0	0
女性	3	0	1	27	0	6	0	0	2	0	0
計	4	1	2	38	2	7	0	1	3	0	0

③ 入浴別 H31.03 末

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
11	42	0	5	0

④ 利用状態別 H31.03 末

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	サービス移行
44	2	4	2	5	1

地区別利用者割合（実人員）は中川地区が66%、次いで赤湯地区、吉野地区となっている。
市内の施設からの利用は前年度より減少となっている。

介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で6割を超えている状況。

要介護3は全体の18パーセント。要介護4、5は17%であり、平均介護度は2.2で昨年度0.1大きくなっている。

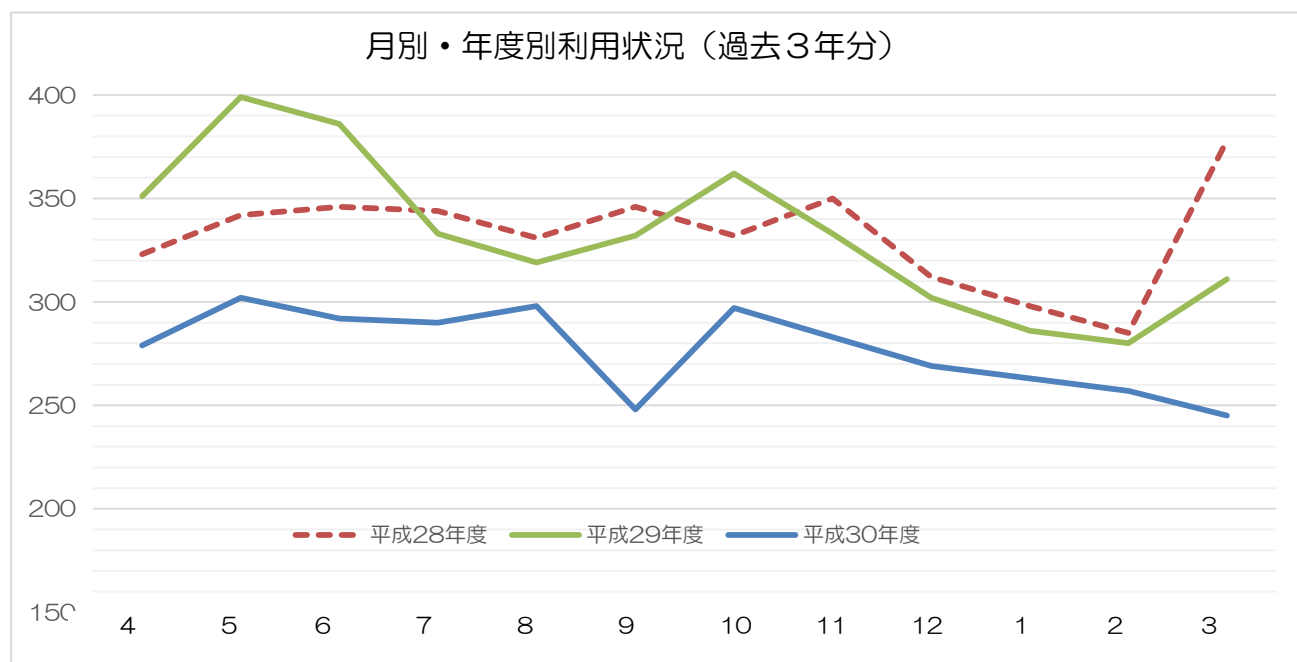
利用状態別割合は、年間を通して76%程の方が継続してご利用であった。又、入所、ご逝去、入院及び、サービス変更による利用終了が24%程と高くなっている。

※休止中の内訳については、冬季SS利用に変更、及び自宅静養中の方。

⑤ 月 別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営 業 日	20	21	21	18	21	18	22
要介護	221	244	239	241	235	192	229
総 合	58	58	53	52	63	56	68
利用者計	279	302	292	293	298	248	297
利 用 率	86.1%	88.8%	85.8%	85.2%	87.6%	85.0%	83.3%
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
営 業 日	21	19	19	19	20	239 日	
要介護	222	209	206	197	178	2613 人	
総 合	61	60	57	60	67	713 人	
利用者計	283	269	263	257	245	3326 人	
利 用 率	83.2%	98.3%	96.1%	93.9%	75.6%	87.4 %	

※利用率は目標値にて算定。定員の90%（12月～2月は80%）に設定



※H30年度は営業日が昨年比でマイナス60日、又、冬季入院者の増により利用者数は大幅に減少となった。

(3) 利用者日課と行事

時 間	利用者の活動	業務内容	人員
08:00		出勤・送迎車点検・除雪（冬季） ミーティング、受け入れ準備	⑤
08:30	送迎バス出発	乗車介助・宅内介助	⑤
09:30	送迎バス到着	受け入れ・移動介助・連絡帳確認及び記入 ミーティング	⑥
09:40	健康チェック	バイタルチェック	
10:00	茶話会 入浴 個別リハ、レクリエーション活動	6名体制時 入浴介助(介助浴・特別浴)・浴室清掃 ※水曜日及び5名体制時は介助浴のみ ホール対応（総合事業時間短縮型）	⑥ ⑤ ①
11:30 12:00	入浴終了 昼 食	昼食準備・配膳 食事介助（昼当番）2名（他休憩） 口腔ケア・排泄介助・移動介助	⑥
13:00	休 養	連絡帳、日誌類記入（昼当番休憩）	
13:50	送迎出発（総合事業時短型送り）	送迎介助	②
14:00	健康チェック 入浴（特別浴）	健康チェック・排泄介助・水分補給・レク準備・特別浴（4名体制時）	③ ②
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導	③
14:50	手作りおやつ 茶和会・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 相談等・記録（データ入力）・送迎準備	⑤
15:20	帰宅準備	連絡帳配布・排泄介助	⑤
15:40	送迎出発	送迎介助	⑤
16:50	送迎バス到着	送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録（データ入力）	⑤
17:00		退 勤	⑤

月 別 行 事 実 績			
4月	・桜花見・季節のおやつ作り	10月	・秋祭り・災害避難訓練・ビデオ体操
5月	・体力測定・ゆったりティータイム	11月	・俳句・短歌
6月	・災害避難訓練 ・ゆったりティータイム	12月	・クリスマス会・季節のおやつ作り ・ゆったりティータイム
7月	・季節のおやつ作り	1月	・書き初め・体力測定・季節のおやつ作り
8月	・ゆったりティータイム・体力測定	2月	・節分豆まき・ゆったりティータイム
9月	・体力測定・野外芋煮会	3月	・雛祭り会・お彼岸・季節のおやつ作り

(4) 運営推進会議

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月21日	4名	3名	活動状況及び利用者の状況報告
11月19日	4名	3名	活動状況及び利用者の状況報告

(5) 非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ◇ 防火管理者 | 近野 生活相談員兼介護福祉士（DSC） |
| ◇ 消防防災設備定期点検 | 9月13日 |
| ◇ 消防防災設備立入検査 | 置賜広域行政事務組合消防本部 なし |
| ◇ 消防防災設備点検届出 | 置賜広域行政事務組合消防本部 9月分 |
| ◇ 夜間非常通報訓練 | 12月6日一斉メール、電話で実施 |
| ◇ 非常災害対策訓練 | 総合防災訓練2回 |

(第1回) 5月27日／こぶし荘合同 重点項目：通報 避難指導 初期消火器訓練 土砂災害対応

(第2回) 11月13日／こぶし荘 重点項目：図上訓練 火災想定

- ◇ 協力依頼 ～ 南陽消防署、地区消防団、北山地区住民、防災設備会社

(6) 施設管理、環境整備

- ① プレハブ倉庫の管理～介護用品、季節用品などの整備、保管
- ② リフトバスの補修整備（車検整備１台）
- ③ 床下ピット内排水作業、センター外周側溝清掃
- ④ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理、修理
- ⑤ 浄化槽の保守管理（排水ポンプの管理）
- ⑥ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑦ 除雪機の整備及び保守管理、駐機場整備
- ⑧ 特浴槽、利用者用シャワートイレ、手洗い自動水洗の保守
- ⑨ 入浴用バスタオル、フェイスタオルをリース継続
- ⑩ センター内エアコンを２台増設（暑さ対策）

12. こぶし荘在宅介護支援センター

(1) 総 括

介護保険における包括支援システムの構築に伴い、自立支援の観点に基づきながら、ご利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう総合相談窓口としての活動を行った。

今年度のサービス利用実績は前年度比マイナス実績であった。次年度は、いきいきサロンや地域行事への参加により地域との連携を深め、介護保険・在宅介護相談の啓蒙を図り、在宅介護説明会・認知症サポート研修会を「研修・地域連携委員会」と共同開催し、実績回復のための利用者確保に向け取り組む。

(2) 利用実績

① 在宅支援事業

1) 業務別件数

項目	件 数
1. 福祉用具展示	有り
2. 相談延べ人数	3,255 人
3. 訪問延べ人数	1,126 人
4. 連絡調整	2,145 件
5. 手続き代行	11 件
6. 通院送迎介助	2 件
7. 介護用品斡旋注文	0 件

2) 相談内容別件数（延べ）

相 談 内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 介護相談	64	38	49	81	75	26	88	66	63	88	79	70	787
2. 健康相談	9	3	10	16	10	13	11	1	1	6	4	6	90
3. 医療相談	15	28	14	23	36	44	32	43	24	36	22	33	350
4. ホームヘルパー	26	35	20	17	20	11	27	34	25	36	30	43	324
5. デイサービス	61	43	67	76	64	60	64	64	57	72	66	68	762
6. ショートステイ	22	31	32	29	34	31	33	34	24	22	14	18	324
7. リハビリ	6	1	8	11	4	0	5	3	1	6	9	8	62
8. デイケア	9	5	3	13	6	12	6	8	7	3	12	6	90
9. 福祉介護用品	35	32	38	54	40	43	60	51	55	60	49	72	589
10. 住宅改修	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	3	9
11. 施設入所関係	3	6	5	1	0	0	3	3	3	3	0	4	31
12. 訪問入浴	7	11	4	5	5	8	11	5	6	3	3	9	77

13. 保健福祉関係	3	2	4	11	14	14	7	11	5	14	7	3	95
14. 訪問看護	16	21	18	14	6	16	20	10	12	10	5	11	159
15. その他	1	0	0	4	0	1	0	0	3	0	0	0	9
合 計	278	256	272	355	314	280	368	333	287	359	302	354	3758

② 居宅介護支援事業

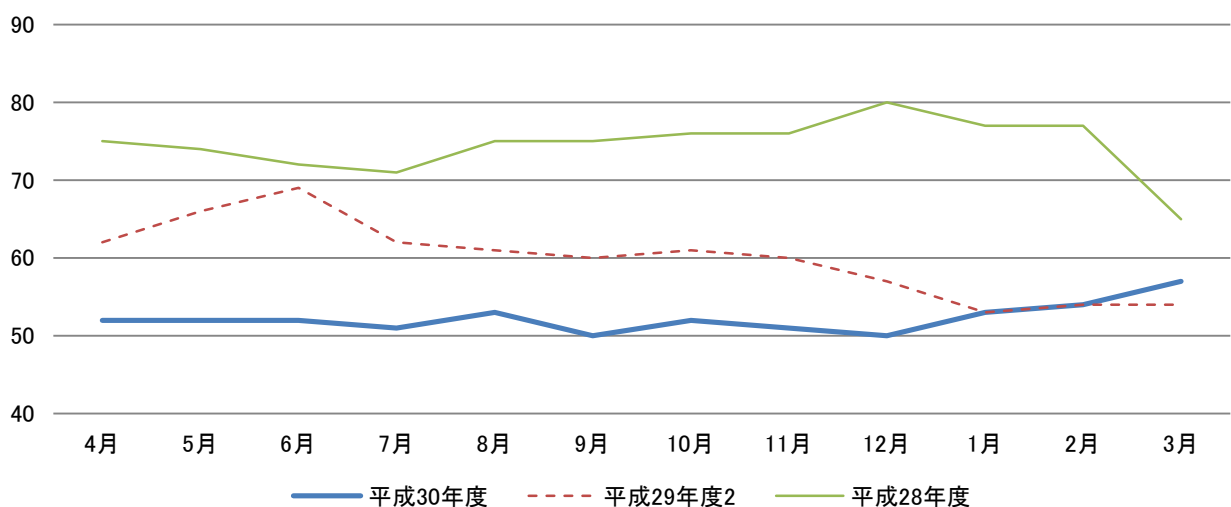
1) 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付管理	38	38	38	38	39	35	36	35	36	38	36	39	446
予防給付	14	14	14	13	14	15	16	16	14	15	18	18	181

2) 移動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 新規相談	0	0	3	0	0	1	0	0	1	2	0	1	8
2. 保険外相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 入所	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	5
4. 入院	0	1	1	1	1	0	0	2	1	2	0	2	11
5. 死亡	0	0	0	1	1	0	1	1	3	0	0	0	7
ケアマネ依頼	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	2	0	7

月別・年度別稼働率状況（居宅介護支援費＋予防委託）過去3年分



13. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

(1) 総 括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。四季折々に地元住民と様々な交流の機会を設けることや、職員の認知症ケアに関するスキルアップは今後も継続して実践していきたい。

(2) 利用者の状況

① 月別・介護度別

区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
	要介護 1	90	93	60	31	31	30	31
	要介護 2	150	178	178	217	217	210	217
	要介護 3	0	0	30	31	31	30	31
	要介護 4	30	1	0	0	0	0	0
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0
利用者計		270	272	268	279	279	270	279
利用率		100%	97.5%	99.3%	100%	100%	100%	100%
入院・外泊		0	0	0	0	0	0	0
区分		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
	要介護 1	60	62	62	56	62	6 6 8 人	
	要介護 2	180	186	155	164	186	2, 2 3 8 人	
	要介護 3	30	31	31	28	31	3 0 4 人	
	要介護 4	0	0	27	0	01	5 8 人	
	要介護 5	0	0	0	0	0	0 人	
利用者計		270	279	275	248	279	3, 2 6 8 人	
利用率		100%	100%	98.6%	98.4%	100%	9 9 . 5 %	
入院・外泊		0	0	0	0	0	(入所までの空きベッド17日)	

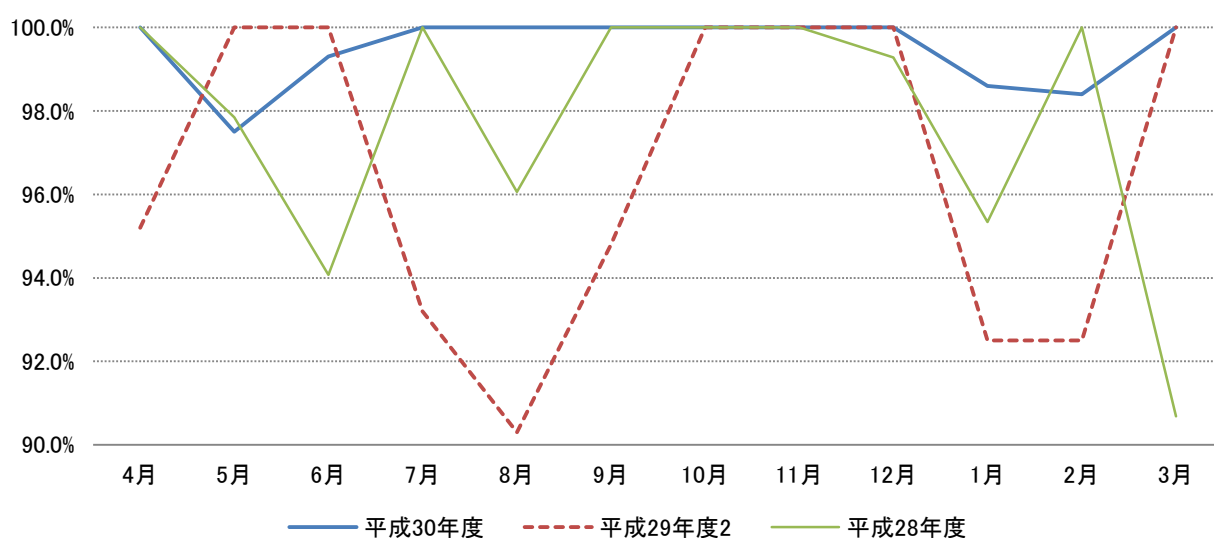
② 年齢別

区分	～60 歳台	70 歳台	80 歳台	90 歳台	100 歳以上	平均
男 性	0	0	3	0	0	8 5 . 00
女 性	0	0	5	1	0	8 6 . 83
計	0	0	8	1	0	8 6 . 22

③ 入退所の状況

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	長期入院	その他	計	南陽市
男 性	0	0	1	1	1
女 性	0	0	1	1	1
計	0	0	2	2	2

月別・年度別稼働率状況(過去3年分)



平均介護度は1.9(昨年度2.0)で、要介護1、2の認知症高齢者へのケアが課題とされる。また、入院による空きベッドはなく(昨年度55日)、次期入所までの空きベッドは17日(昨年度58日)であった。

(3) 利用者サービスと日課

利用者の生活は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、「利用者のペース」と「どう暮らしたいか」の思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであることと、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が、安心して地域で暮らせる力となっているという実感がある。地域行事への積極的参加や趣味活動、得意分野を活かした取り組みは、利用者の笑顔からその答えを頂いている。今後も利用者主体のゆったりとした時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つけれられるサポート役を担っていきたい。

	一日の流れ（日課表）
6：00	起床、洗面、着衣交換
7：00	朝食準備
7：30	朝食、後片付け、健康管理チェック
9：00	清掃、洗濯物畳み（前日の午後～就寝前の物）、洗濯（起床～朝食時の物）
10：00	お茶、レクリエーション 等
10：30	入浴、昼食準備
11：00	昼食準備
12：00	昼食、後片付け、洗濯物畳み（起床～朝食時の物）、洗濯（午前中の物）
13：30	休 憩
14：30	レクリエーション、お茶、健康管理チェック 等
16：00	夕食準備、洗濯物畳み（午前中～昼食時の物）
17：00	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯（午後～夕食時の物）
19：00	だんらん
19：30	就寝準備
20：00	就 寝

（４）主な地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
6月 7日	バスハイク（諏訪神社 芍薬祭り）
6月 8日	バスハイク（諏訪神社 芍薬祭り）
7月 5日	オレンジカフェ（笹巻き作り）
8月 4日	佐藤病院夏祭り
8月11日	大相撲南陽場所（南陽市民体育館）
9月 1日	こぶし荘敬老会
9月 9日	中川小学校運動会
10月13日	こぶし荘秋祭り
10月25日	バスハイク（南陽の菊祭り）
10月26日	バスハイク（南陽の菊祭り）
11月 3日	中川地区文化祭（中川小学校）
11月10日	いわぶっ子フェスティバル（中川小学校）
12月15日	オレンジカフェ（ハンドベル演奏会 まつりよしの様）

(5) 運営推進会議

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に基づいて2ヶ月に1回、計6回開催した。家族の思い、市民の思いに寄り添うことを大切にし、当事者感覚での運営を意識しながら実践することにより、更に質の高い介護を目指すことを目的とした。

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月29日	3	3	入居者状況、30年度委員・細則、事業計画 他
7月17日	3	3	入居者状況、家族交流・地域交流 防災訓練 他
9月25日	2	3	入居者状況、敬老会、環境整備、職員研修 他
11月19日	3	2	入居者状況、秋祭り、感染症対策、環境整備 他
1月29日	3	3	入居者状況、感染症対策、オレンジカフェ報告 他
3月20日	3	3	入居者状況、外部評価結果報告、職員研修 他

※新棟増設に関する進捗状況について、毎回の議題の中に採り入れた

(6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致協力して災害に対応するよう訓練を行った。

- ・ 6月 2日 第1回総合防災訓練
- ・ 11月13日 第2回総合防災訓練
- ・ 12月 5日 非常通報訓練

(7) 建物・設備管理

- ・ コピー機交換 4月11日
- ・ 事務室椅子（4脚） 5月24日
- ・ 洗面ユニット交換工事 6月 7日
- ・ ワックス清掃(剥離作業含む) 8月23日～24日
- ・ 玄関扉修理 8月24日
- ・ 座布団セット（10枚） 10月 9日
- ・ 非常照明バッテリー交換(2個) 10月19日
- ・ 冷凍冷蔵庫（1台） 10月23日
- ・ 入居者トイレ便座交換（1台分） 1月22日
- ・ 浴室手すり取り付け工事（1ヵ所） 2月10日
- ・ 電子レンジ（1台） 2月26日
- ・ 入居者トイレ詰まり修理（1ヵ所） 3月12日

(8) 外部評価・情報公表

介護保険法が定める「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」に基づき、理念の実践や介護サービスと職員の資質向上を目的として外部評価を実施した。

評価機関名：協同組合 オール・イン・ワン

訪問調査実施日：平成31年3月 5日

評価結果決定日：平成31年3月11日

※WAM NETでの公表は平成31年3月30日より掲載

また管轄連携機関等から基準に則った評価を受ける機会や、制度下での市民への情報開示を行う機会にも真摯に対応出来た。今後も更に開かれた施設作りに取り組みたい。

★★ 平成30年度事業報告書 ★★

法人名： 社会福祉法人南陽恵和会
理事長 遠藤 東一郎

所在地： 山形県南陽市川樋508番地

電 話： 0238（49）2800

FAX： 0238（49）2802

メール： kobushi@bz01.plala.or.jp

URL： <http://kobushiso.jp/>